



どのような未来を目指すための事業か

土砂災害リスクを軽減するため

防護柵をつくります

地元の声

・過去に崩れたこともあるため、早く対策してほしい。（地元住民）

事業前

◆斜面が急であるため、大雨等でがけ崩れが発生するおそれがあります。



事業前の状況

事業後

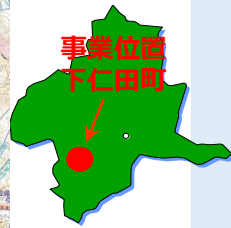
◆防護柵をつくることにより、落石や崩落した土砂を受け止め、がけ崩れによる被害のリスクを軽減します。



事業後のイメージ（一例）

事業の概要

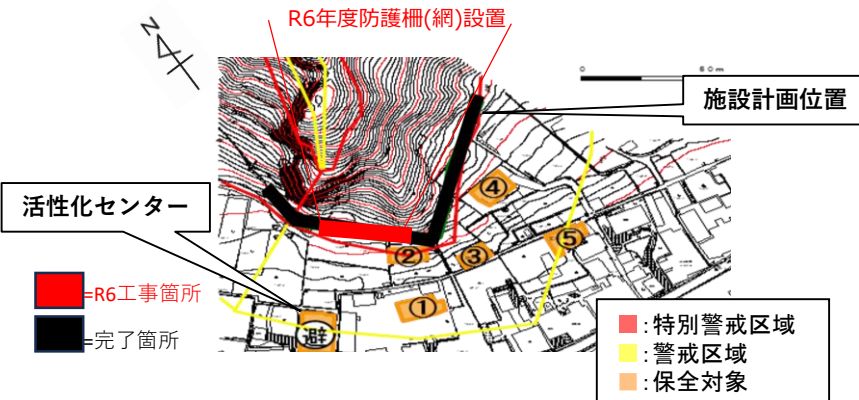
- 事業箇所：下仁田町本宿
- 事業内容：防護柵工 延長128m
- 事業期間：令和元年度～



事業の進捗状況（令和6年3月末現在）

今、何をしているか

令和6年度は防護柵工事をを行います。



事業のすすみ具合

